

2025 年 6 月 27 日

各 位

昭和リース株式会社

## 株式会社クラスとの家具サブスクリプションビジネスに関する取引の拡大について

SBI 新生銀行グループの昭和リース株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:泰山 信介、以下「昭和リース」)は、株式会社クラス(東京都目黒区、代表取締役社長:久保 裕文、以下「クラス」)との家具サブスクリプションビジネスにおける協業において、取引枠を最大 3 億円まで拡大することを決定いたしました。

### 【クラスが提供するサービスの特徴】

クラスは、家具と家電のレンタル・サブスク『GLAS』として、家具や家電などの耐久消費財を手頃な月額で利用し、「借りる・返せる・買う」を自由に選択できるサービスを個人・法人向けに展開しています。利用後に返却された家具・家電を修繕・クリーニングして再活用することで廃棄を回避し、SDGs 目標 12「つくる責任 つかう責任」につながる、サステナブルな消費行動を促しています。

環境省の実証事業(2023 年 2 月時点)においても、クラスがサービス展開している家具を対象に試算した結果、従来の売り切り型ビジネスと比較して、CO2 排出 36%削減、廃棄物発生 38%削減の効果が認められており、資源が循環するサーキュラーエコノミーの実現に貢献しています\*。

### 【昭和リースのアセット投資スキームの特徴】

昭和リースは 2023 年より、クラスが展開する家具サブスクリプションビジネス向けに、アセット投資スキームを通じた機材調達支援を行ってまいりました。昭和リースが提供するアセット投資スキームは、スタートアップ企業や成長企業にとって、資産調達の柔軟性と効率性を両立する手段となり、以下の特徴を有しています。

#### ・従量課金モデル(通常のリースとの違い)

一般的なリース契約では、契約期間中は固定のリース料を支払う必要がありますが、昭和リースのアセット投資スキームでは、機材の稼働率に応じて昭和リースへ使用料を支払う従量課金型の仕組みを採用しています。これにより、事業者は初期投資負担を抑えつつ、在庫リスクを回避することが可能となります。

#### ・事業性評価に基づく与信

与信判断は、事業の将来性や収益性を重視しており、スタートアップ企業でも利用しやすい設計となっています。

### 【協業拡大の理由】

今回の投資枠拡大は、クラスのビジネスモデルにおける以下の点を高く評価したことによるものです。

#### ① 卓越した DX 化による業務効率と成長性

クラスは、高い水準のデジタルトランスフォーメーション(DX)を実現しており、システム開発から運用までを自社で完結させています。倉庫内でも部品単位での在庫管理が行われるなど、現場のオペレーションにも DX が自然に組み込まれています。こうした高度な仕組みにより、複雑なオペレーションも効率的に処理され、着実に売上を伸ばす急成長企業として、今後もさらなる事業拡大が期待されます。

#### ② 高品質なリファービッシュ技術とサステナブルな運用体制

クラスでは、返却された家具・家電が徹底的に修繕・クリーニングされ、高い品質を保った状態で再び提供されています。繰り返し利用されるサブスク商材においても、品質を妥協せず、一貫して高いユーザー体験を提供しています。

SBI 新生銀行グループは、2025 年度からの中期経営計画において、今後 3 年間で目指す姿として中期ビジョン「次世代の金融、共に築き切り拓く未来」を掲げ、「サステナビリティ経営の深化」をその基本戦略のひとつとしております。昭和リースは今後も、『GLAS』をはじめとした、モノサブスクリプションサービスへのビジネス展開の強化を図る中で、社会・環境分野におけるサステナビリティ課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

【担当者のコメント】

株式会社クラス 戦略財務本部 本部長 原 巧 様：

このたびは、昭和リースの皆さまに、弊社の事業性および業績の安定性を高く評価いただき、取引枠を最大 3 億円まで拡大していただくことになりましたこと、心より御礼申し上げます。

今回の取引枠拡大は、弊社の事業成長を力強く後押しするものであり、昭和リースさまとの連携を一層強化し、より多くのお客さまへ価値あるサービスを安定的に提供できるよう、一層努めてまいります。

今後とも、ご期待に沿えるよう事業の発展に邁進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昭和リース株式会社 パートナービジネス部門 パートナービジネス部 次長補 坂井 貴一：

このたび、クラスさまの機材調達をご一緒できたことを、心より嬉しく思っております。

2023 年からこの取り組みをスタートし、クラスさまのサブスクリプションの運用を間近で見させていただく中で、部品単位での細やかな在庫管理や、高度なリペア技術のマニュアル化、在庫の需給・返却予測など、日々改善を重ねながら運用されている姿に、深く感銘を受けました。

これらを支える先進的なシステムも非常に印象的で、サブスクリプションビジネスの効率化や品質向上にとどまらず、持続可能な社会づくりにも貢献されていると感じています。

当社としても、クラスさまの成長の可能性に大きな期待を寄せており、これからのさらなるご活躍を心より楽しみにしております。



左から株式会社クラス 戦略財務本部 GM(本部長) 原 巧さま、  
昭和リース株式会社 パートナービジネス部 坂井 貴一、同 吉田 有沙

---

※クラスが創出したインパクトの詳細は、下記 URL をご参照ください。

<https://clas.style/company/news/227>

以 上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部

報道機関のみなさま: [SBIShinsei\\_PR@sbishinseibank.co.jp](mailto:SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp)